



図書館だより 12月号

〒519-0505 伊勢市小俣町本町 2 番地 (電話) 0596-29-3900 (FAX) 0596-29-3902

小俣図書館 図書館行事 ご案内

おはなし会 1階・おはなしのへや



★「赤ちゃんおはなし会」 1階・おはなしのへや

12月 8日(土) たんぽぽおはなし会、午後3時～
12月 16日(日) ピッポの会・紙芝居、午前11時～

12月 13日(木) 午前11時～

★ 図書館おはなし会&工作

〈1階・おはなしのへや〉



(日時) 12月 22日(土) 午後3時～
(対象) 3歳～小学生(就学前の子どもは保護者同伴)
(内容) おはなしを読んだ後、色紙で干支(へび)を作る工作をします。



◆上映会 2階・視聴覚室



12月 ①15日(土)・②24日(月)

①「劇団四季 はだかの王様」《117分》

②「トムとジェリー 恋ははかなく」

《アニメーション 約60分》

※おはなし会、上映会の事前申込みは不要です。

※時間は、いずれも午後2時からです。

☆巳(み)んなのカルタをつくろう!☆

へび年の「巳(み)んなのカルタ」を募集します。募集したカルタは、12月15日(土)から館内で展示し、平成25年1月14日(月・祝)の「へびっぴりカルタ大会」で使わせていただきます。

募集期間:平成24年12月1日(土)～12月28日(金)



申込み:同館カウンターで、用紙を47人(先着順)に配布します。



手づくりはがきで A HAPPY NEW YEAR!!

三重県環境学習情報センターの職員を招き、牛乳パックのリサイクルについて、クイズと紙すき体験をします。

日時:12月15日(土) 午前10時30分～正午

場所:2階・会議室

対象:一般(小学生以下は保護者同伴)

定員:20人(先着順)

持ち物:雑巾1枚

申込み:12月1日(土) 午前9時から、直接・電話で同館へ

ハガキが1～3枚程度作れます!

開館時間 午前9時～午後7時

休館日 毎週火曜日、第2金曜日
年末年始、特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内(うち雑誌は5冊まで)
1団体50冊1ヶ月以内(うち雑誌は25冊まで)

小俣図書館カレンダー

12月

1月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

※12/29(土)～1/4(金)まで年末年始のため休館です。

クリスマス おはなし会

クリスマス絵本の読み聞かせをします。サンタクロースもやってきます。

日時:12月23日(日・祝) 午後2時～
場所:2階・会議室
対象:小学生以下
定員:50人(先着順)
申込み:12月1日(土) 午前9時から、直接・電話で同館へ

図書館だより 12月号

(編集・発行) 伊勢市立伊勢図書館 指定管理者/株式会社 図書館流通センター (住所) 〒516-0076 伊勢市八日市場町 13-35 (電話) 0596-21-0077 (FAX) 0596-21-0078 (ホームページ) http://iselib.city.ise.mie.jp/



こんにちは!いせえびちゃんです。とうとう2012年もあとわずか、12月のこすのみですね。12月は師走、走りまわるほど忙しい時期といわれますが、忙の字の如く心をなくしたりしないで、読書を楽しむ時間も持ちたいものですね。



「おはなし会」

《日時》毎週土曜日 午後2時30分～

《場所》1階・おはなしコーナー

12月1日/おにいさん、おねえさん による おはなし会
12月8日・15日・22日 /おはなしプーさん による おはなし会

えほんのよみかせ、かみしばいなどを行っています。



「あかちゃんえほんのじかん」

《日時》12月27日(木) 午前11時～

《場所》2階・視聴覚室

《内容》あかちゃんむけの絵本の紹介や、手あそびなどをします♪

あかちゃんえほんのじかんは、毎月第4木曜日です。

開館時間 午前9時～午後7時

休館日 毎週水曜・第2金曜・年末年始・特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体50冊1ヶ月以内(うち雑誌は25冊まで)

伊勢図書館・休館日カレンダー

12月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2013年1月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

◆ 12月29日(土)～1月4日(金)は

年末年始のため休館いたします。

* おはなし会、あかちゃんえほんのじかん、上映会 は、申込不要です。どうぞお気軽にご参加ください!



「上映会」

《日時》12月9日(日) 午後1時30分～

《場所》2階・視聴覚室

『クリスマス・キャロル』

強欲で冷淡、人間嫌いの男・スクルージ。クリスマス・イブに彼の前に現われたのは、亡くなった唯一の親友・マーレイの亡霊だった! 文豪ディケンズの不朽の名作を見事映像化!

〈日本語吹替〉

〈上映時間 93分〉



「冬休み子ども映画会」

《日時》12月23日(日・祝) 午後1時30分～

《場所》2階・視聴覚室

『ポラー・エクスプレス』

イブの夜にあらわれる“ポラー・エクスプレス”お乗り遅れのないように!



〈CGアニメーション・日本語吹替〉 〈上映時間 100分〉



「クリスマスおはなし会」

《日時》12月24日(月・祝)

午後2時～

《場所》2階・視聴覚室

《内容》クリスマスにちなんだ絵本や紙芝居の読み聞かせ、工作などをします。

《定員》50人(先着順)

《申込》12月8日(土)から、

直接カウンター、電話、FAXで伊勢図書館まで。

*** どなたでもご参加いただけます ***

(未就学児は保護者同伴で可)





本のごあんない



〔一般書〕 一年をふりかえって

2012年、本屋大賞をとった読み物をはじめ、「塩麴」「東京スカイツリー」「なでしこジャパン」など、話題になったモノを紹介した関連本を集めました。本からこの一年を振り返ってみては？



- ◎ 日食のすべて (大越治、塩田和生/著 誠文堂新光社)
- ◎ 東京スカイツリー 世界一を創ったプロフェッショナル (NHK出版/編 NHK出版)
- ◎ 塩麴のおかず甘麴のおやつ 体にいいこといっぱい! 麴の超かんたんレシピ (坂田阿希子/著 家の光協会)
- ◎ なでしこ力 次へ (佐々木則夫/著 講談社)
- ◎ 舟を編む (三浦しをん/著 光文社)

〔児童書〕 クリスマスまで、あと・・・

12月になると、街ではイルミネーションが輝き、音楽が鳴り響きクリスマスまでのカウントダウンが始まります。プレゼントやパーティー、ケーキやツツなど、みんなの家ではクリスマスの準備はOKかな？

手作りしたくなるような飾りや料理、ステキなお話など、クリスマスまでを指折り数えたい本を紹介しします。

- ★ クリスマスにはおひげがいっぱい!? ほんとのサンタさんの話 (ロジャー・テュボアザン/作 今江祥智、遠藤育枝/訳 BL出版)
- ★ にんじゃサンタ (丸山誠司/[作] PHP 研究所)
- ★ クリスマスをかざろう (花田えりこ/文、絵 岩崎書店)
- ★ クレヨン王国森のクリスマス物語 (福永令三/著 三木由記子/画 講談社)
- ★ 正しい魔女のつくいかた (アンナ・テイル/著 岡本さゆり/訳 早川書房)



〔ヤングアダルト〕 「詩を感じよう！」

人によって、思うことや感じることは違うはず・・・

「こだまでしょうか」でも知られる金子みすゞの詩をはじめ、国内外の詩に関する本や、詩人が登場する本をご紹介します。

- 【一般書】
- 10代をよりよく生きる読書案内 詩歌編 (こやま峰子/編著 東京書籍)
- わたしと小鳥とすすと (金子みすゞ/著 JULA 出版局)
- ボードレール詩集 (ボードレール/[著] 粟津則雄/訳編 思潮社)

【児童書】

- 魔法のこたば エスキモーに伝わる詩 (柚木沙弥郎/絵 金関寿夫/訳 福音館書店)
- ヴォイス 西のはての年代記II (ル=グウィン/著 谷垣暁美/訳 河出書房新社)



★ 伊勢・小俣図書館のどちらかに所蔵がある本です。ご利用館にない場合は、予約ができます。

「星はすばる。ひこぼし。ゆふづつ・・・」

— 枕草子 清少納言 —

冬の夜空は一年中で最も豪華な輝きに彩られる。日本では古来、プレアデス星団をすばる〔昴〕と呼んだ。凍てつく空気の中、星々が瞬きあう様を美しいと感じるのは平安の時代も同じであった。

ふるさとの風
～師走～

一陽来復

— 神都伊勢の年迎え —

師走の声を聞く。二十四節気の大雪を過ぎる頃から、いつのまにか冬の気配を感じるようになってきた。いよいよ年の瀬。日本各地で年迎えの風景があらこちらで見られる。

迎春準備の中で欠くことのできないものの一つに注連縄飾りがある。注連縄は聖域と俗界を区別する結界としての機能を持つと同時に無病息災への祈願の役割もある。その起源は古く、古事記までさかのぼる。

即ち布刀玉命、尻くめ縄を以て其の御後方に控き度して、白して言ひしく、
「此より以内に還り入ること得じ」といひき。

— 古事記 —

須佐之男命の乱暴を怖れて天岩戸に隠れた天照大神を引き出した際、再び岩戸内に戻れぬよう張り渡した尻くめ縄がその始まりとされる。

新年を迎えるために掛けられた真新しい注連縄飾りは、松の内が過ぎるとはずされるのが一般的だが、伊勢志摩地方では一年中掛けておく風習がある。

古くは桃の木を使用したため桃符と呼ばれる木札に書かれた「蘇民将来子孫家門」の文字はこの地方独特で次のような伝説がある。

その昔、伊勢の地を訪れた須佐之男命に、貧しいが慈悲深い蘇民将来が手厚くもてなし一夜の宿を貸した。

須佐之男命は大変喜び旅立つ時「今後、蘇民将来子孫の門符を門口にかけておけば子孫代々疫病から免れる」と言い残した。

以来、蘇民の家は禍いからも逃がれ代々栄えた。

鎌倉時代中期、卜部兼方によって記された「釈日本紀」には「備後国風土記逸文」として最も古い「蘇民将来」の逸話がみられる。

吾は速須佐雄の神ぞ。後の世に疫氣あらば、汝、蘇民将来の子孫と云ひて、茅の輪を以ちて腰に着けて在る人は、免れなむ。

蘇民将来の伝説がある二見松下の地は、神宮から流れ出る五十鈴川の派流沿いにある。静寂な雰囲気のある蘇民の森とよばれ、この地の氏神松下社 (通称蘇民社) が鎮座する。平安中期、安倍晴明が建立したとも伝えられ、祭神は須佐之男命、菅原道真、不詳一座の三座。宮域内にある大楠は、三重県の天然記念物で樹齢二千年といわれ、幽遠さをより一層漂わせている。

「蘇民将来子孫」と書かれた桃符の注連縄を配布する頒布初祭は毎年12月16日。この地域の人々は古くから蘇民の子孫である証として門符をかけ無病息災を祈願している。

一年中伊勢の町で目にする注連縄——。
家の守り神として、そして今もなお蘇民将来のもてなしの心を伝えている。

大雪からかぞえて約15日目、一年でもっとも昼が短く夜が長い日が訪れる。冬至である。そしてこの日を境に太陽は勢いを増し始め、少しずつ日脚も伸びていく。天照大神は太陽の化身、生命を育む神…。伊勢の地は古くから太陽崇拝の地とされてきた。冬至の日、内宮宇治橋の鳥居中央から昇る朝日を拝む。

一陽来復——。

新しい年が幸多きことを祈りつつ・・・。

- ➡ 伊勢参宮名所図会 (節閏月/画 編 原田幹/校訂 国書刊行会 L290/シ)
- ➡ 伊勢の文学と歴史の散歩 (中川埤梵/著 古川書店 L902/ナ)